

# くずし字入門講座 4



日時:令和3年

6月20日(日)

10:00~11:30

14:00~15:30

文書館研修室

講師:文書館 柳沢

勝見宗左衛門家文書「大成用文章(往来物)」 [B0037-00712](#) 福井県文書館蔵

# 本日のテーマ

- 江戸時代の「返って読む」言い回しに慣れる
- 古文書の“山”の登り方は、ひとそれぞれ

- ・ 習うより慣れろ

集中してまとまった量を読めば、だれでも資料の9割までは、読めるようになります。

- ・ でも残りの1割の壁はちょっと高い

何しろ漢字は6万字もある

意味を理解する

時代背景を学ぶ

仲間といっしょに読む

# 講座の構成

## 1● 病氣の見舞状を読む

まずは、翻刻文で

翻刻…写本・くずし字資料などを、原本どおりに活字に組むなどして新たに出版すること。近年はコンピュータ上で利用できるようにすることも含む。

## 2● 疱瘡(天然痘)見舞の手紙を読んでみる

ふりがなと返り点をたよりに  
返って読む部分に気をつけて

## 3● お医者さんに往診を頼む文を読む

返って読む部分に慣れる

# 1-1 ● 病氣の見舞状を読む

勝見宗左衛門家文書「大成用文章(往来物)」 B0037-00712

福井県文書館蔵



返書を含む手紙の例文集  
借金証文や奉公請状などの証文  
の例文も

「よみがな」や返り点を「ん」に  
嘉永元年(一八四八)出版

# 1-1 ●まず、翻刻で読んでみよう

びやうちう  
病中見舞状

一筆致ニ啓上一候、貴所様久々  
いたし  
きしよ ひまびま

びやうき  
御病氣之由、如何御座候哉、乍  
いかが さくらふや ながら

うけ給ハリ ミまひも ず  
レ 承 御見舞茂不ニ申上、失敬  
しつけい

いたり ゆうじよ  
之至御宥恕可レ被ニ成下一候、且此品  
かつこのしな

そまつ いたり  
鹿抹之至ニ御座候得共、御見  
ミ

まひ しるしまでしん  
舞之験迄進上仕候、折角  
せつかく

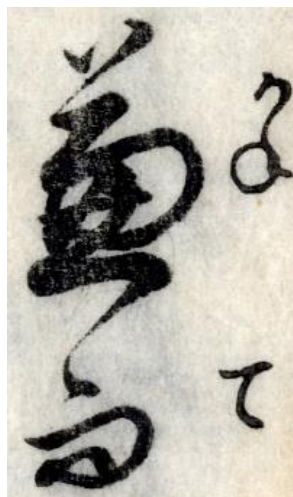
ほうご  
御保護可レ被レ遊様專一奉レ存候、  
やうせんいち

恐々不具



「よみがな」と返り点(一・二・レ)に注意

1-2●ふりがなによく使われている仮名 可・多・介・者



□□□  
カ



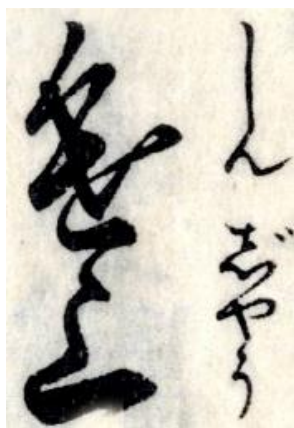
□□□  
ク



□□□  
ケ



□□□  
コ



□□□  
カ



□□□  
ク



□□□  
ケ

史的文字データベース  
連携検索システム(国文学研究資料館、東大史料編纂所)

# 1-3 ● 病中見舞状にでてきた「もどって読む」表現



奉願候  
奉察候  
奉賀候  
奉願上候



可被存  
可被達  
可被施



可被仰下  
可被仰出



不及  
不能  
不存  
不相替



乍序  
乍恐  
乍去  
乍知



致承知  
致満足  
参照】



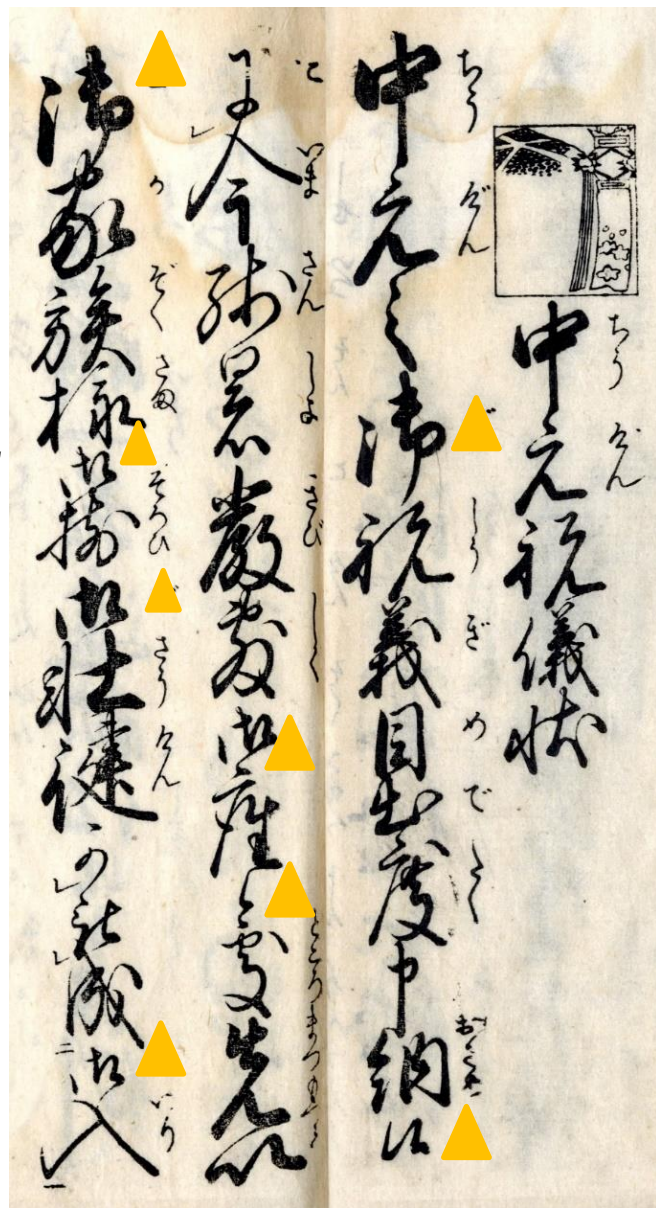


# 1-5 ● 文脈で読む「御」と「候」、ついでに「返って読む」表現

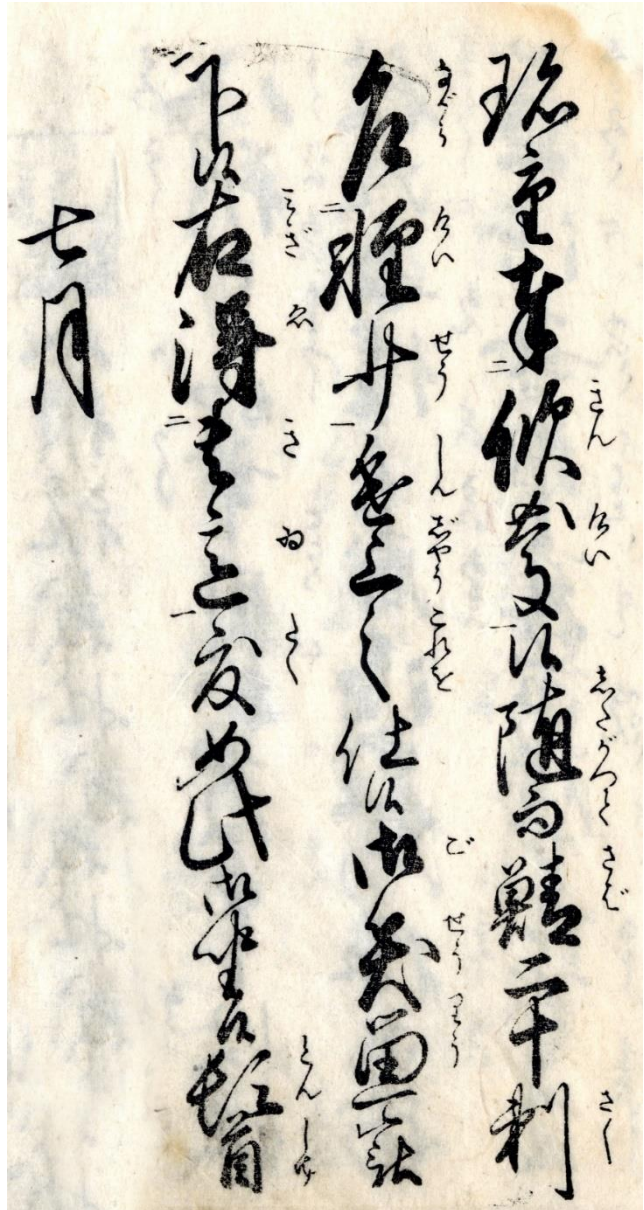
□に「御」か「候」の  
どちらかを入れて  
ください

爾今残暑嚴敷□座□処先以  
 □家族様□揃□壯健可被成□入

中元祝儀状



史的文字データベース連携検索システム(国文学研究資料館、東大史料編纂所)



珍重奉欣慶□随◇鯖◇◇刺

◇輕少進◇◇仕□□笑留可被

下□右得貴意度如此□坐□頓首

七月



参照

進之候 進申候

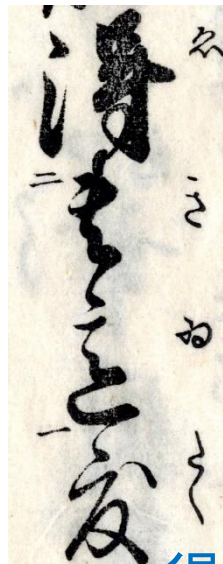


史的文字データベース連携検索システム(東大史料編纂所)

# 1-6 ● 「もどって読む」表現を確認



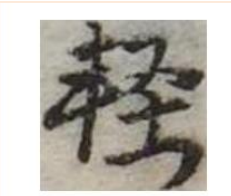
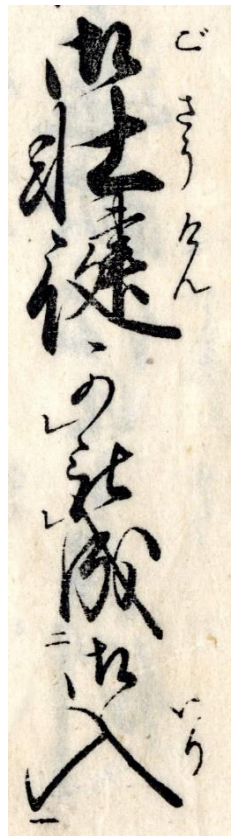
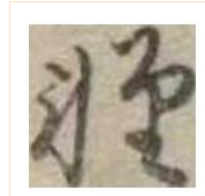
如件  
如仰  
如左  
如斯



得御意度

仕度  
承度

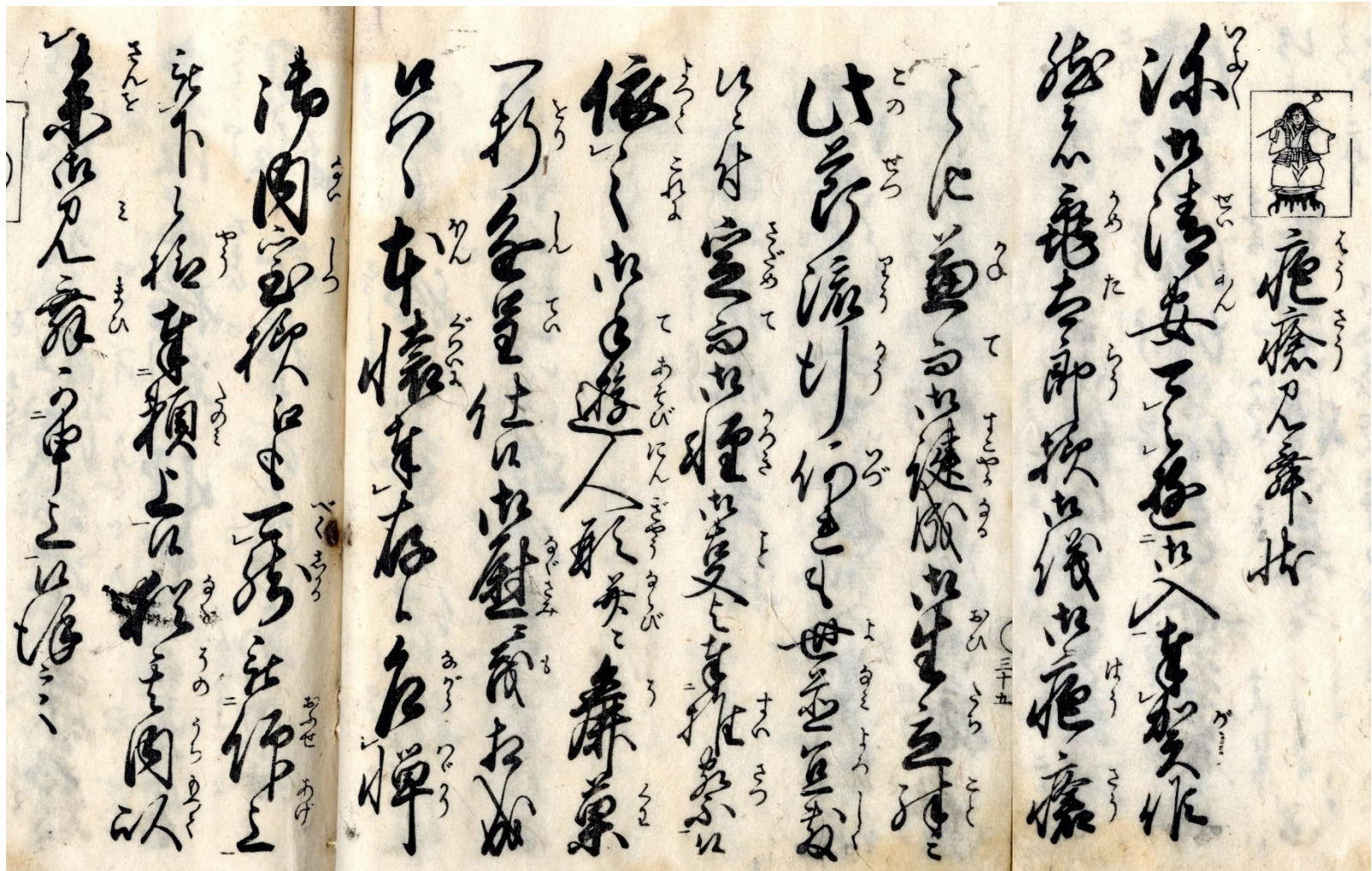
申上度



爾今

【参照】

## 2● 疱瘡(天然痘)見舞の手紙を読んでみる 返って読む部分に気をつけて



2-1 ●あちこちにある「返って読む」言い回し

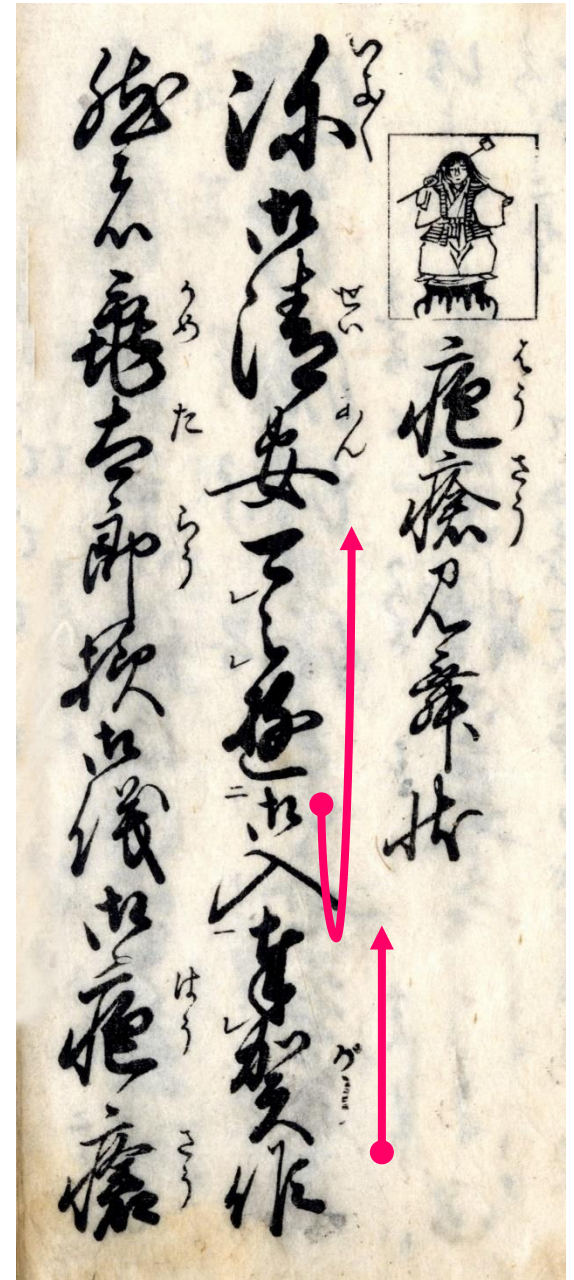
↓ヒント



史的文字データベース連携検索システム  
(国文学研究資料館、東大史料編纂所)

者 亀   
清安   
入 賀

疱瘡

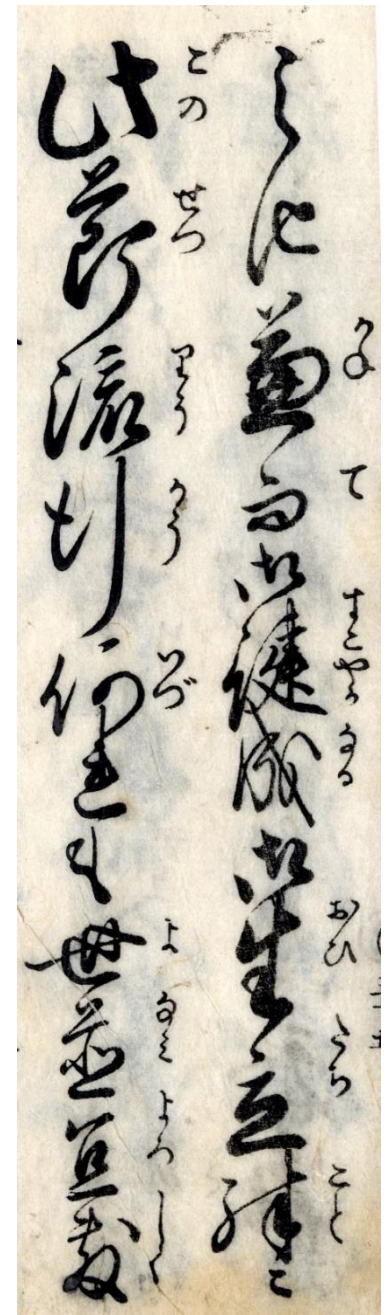




史的文字データベース連携  
検索システム(国文学研究資  
料館)

●ふりがなと左のくずし字を参考に読んでください。

□節流□□れも□□宜□  
□由□□□健成□□殊二

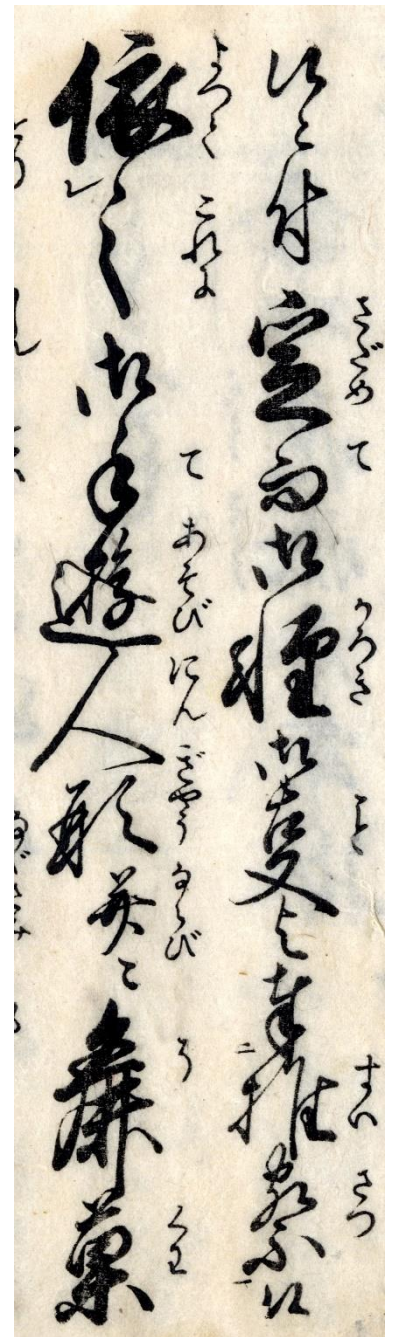




史的文字データベース連携検索システム(国文学研究資料館)

□□□手□□□□并□□菓

□□□定□□□軽□事与□推察□





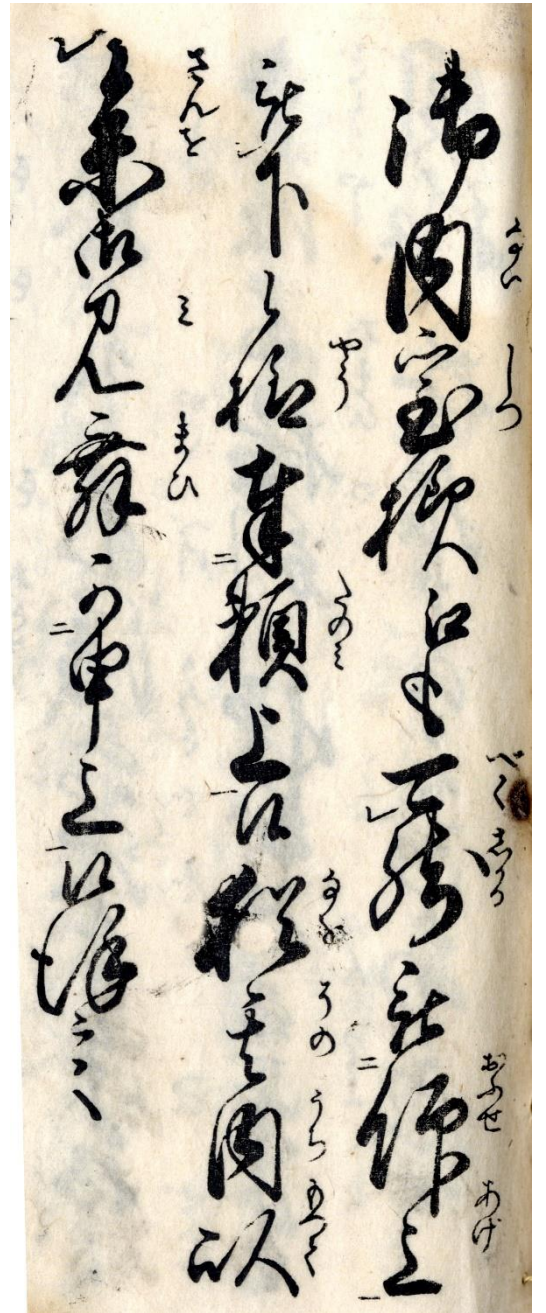
史的文字データベース連携検索システム(国文学研究資料館)

□ハ、本懐□□□□□憚

□□□□□慰□□相成







□□室□□も□□□□□□□□

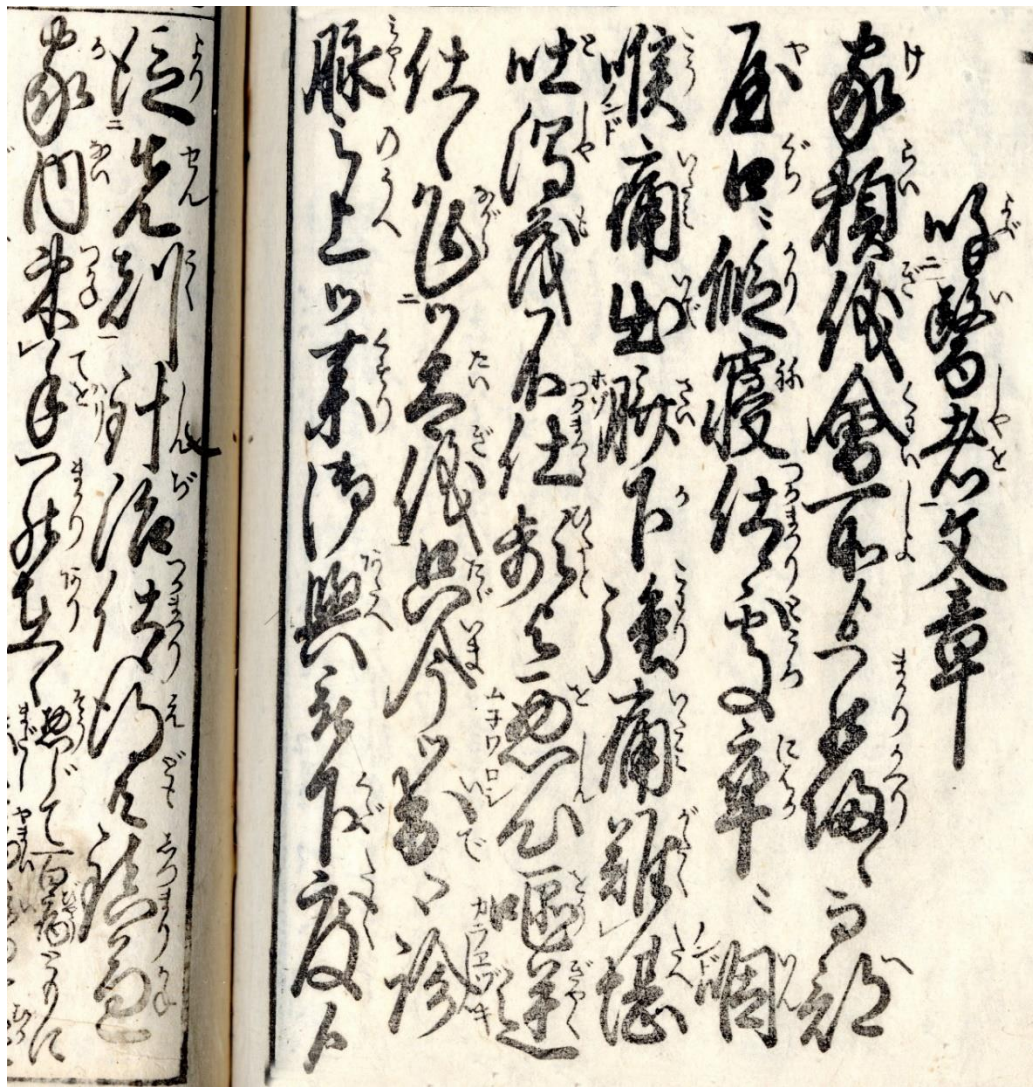
□□□様□□□□□□□  
猶其□□□

参□見舞□□□□謹言



史的文字データベース連携検索システム(国文学研究資料館)

### 3 ● お医者さんに往診を頼む文を読む 返って読む部分に慣れる



『文章大全一代書用筆林宝鑑』  
寛延3年(1750)  
桜井市兵衛家文書  
Z00555-000630

呼醫者文章

呼医者文章

家頼候會言まらむ候に  
唇口能寝付まらむ候に  
喉痛出候下強痛難堪

\* 家頼 □ 会所方罷歸 □ □ 部

屋 □ □ □ □ □ □ □ 処 卒 □ □

□ □ □ 臍 □ □ □ □ □ 堪

\* 家頼 / 家来 : : 庄屋、地主の従者、小作人、家抱(け  
ほう)、また商家での雇人などの称

まらむ候に

難堪

吐瀉としゃ氣き不ふ仕し候こう也や思し心しん嘔おう逆ぎゃく  
 吐と瀉しゃ氣き不ふ仕し候こう也や思し心しん嘔おう逆ぎゃく  
 脉みやく上じやうツつ系けい沙しゃ興かう多た下げ度ど  
 吐と瀉しゃ氣き不ふ仕し候こう也や思し心しん嘔おう逆ぎゃく  
 脉みやく上じやうツつ系けい沙しゃ興かう多た下げ度ど

吐瀉□□□頻与□□ 嘔逆

□□□□太□□□□出□□□

脈□□□藥□与□□□□□



参照

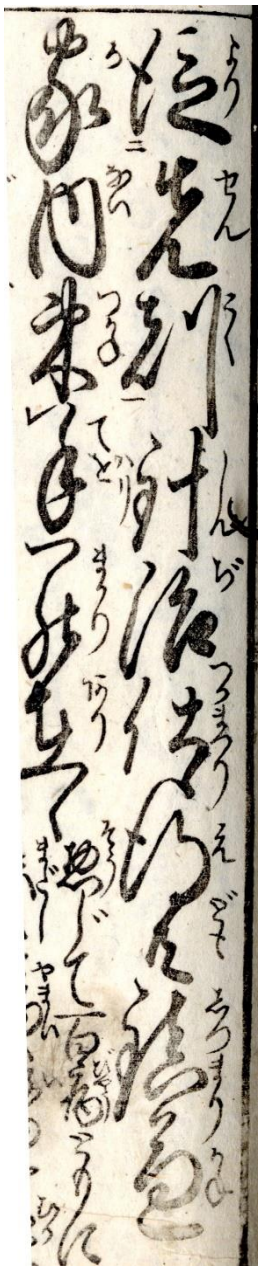
吐瀉としゃ氣き不ふ仕し候こう也や  
 吐と瀉しゃ氣き不ふ仕し候こう也や

仕置候 仕度 仕間敷

吐瀉としゃ氣き不ふ仕し候こう也や  
 吐と瀉しゃ氣き不ふ仕し候こう也や

承度じやうど申上度しんじやうど  
 承じやう度ど申しん上じやう度ど

承度 申上度



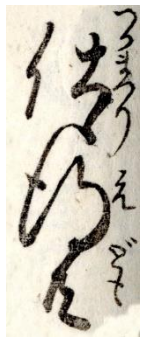
従□□針□□□得共鎮□

□□□\*束□□□□□□

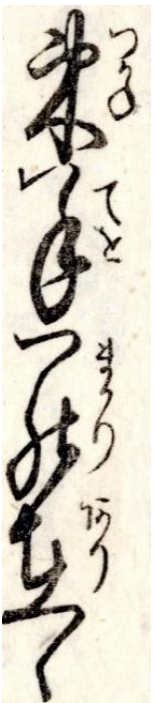
\*てを束ねる…腕組みをしたまま、何もしないで見ている。何もできないでいる。

【参照】

従此 従是



候へ共 候得者 候へハ  
候はゞ 候半者



罷出候間 罷下候て  
罷有候 罷成事

- みなさま、お疲れ様でした。



このコは誰でしょう？

疱瘡見舞に贈られることが多かった猩々人形と考えられます。

庶民の間ではより安価な張子製の猩々人形やだるまが贈られたようです。